

年間授業計画

教科	科目	使用教科書	単位数	対象学年・組
地歴	歴史総合	『歴史総合 近代から現代へ』(山川出版社)	3単位	第1学年A～H組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	歴史的な事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して考察したり説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本と世界の近現代史を総合的に学ぶことを通じて、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 結びつく世界と近代世界の成立 ・19世紀中頃以前の世界の近代化の様子と日本の変容を理解することができる。 ・19世紀中頃以前の世界の近代化について相互の関連や現在との繋がりについて考察したり説明することができる。 ・19世紀中頃以前の世界の一体化について自分なりの問いを主体的に表明し探究することができる。	19世紀前半までの世界の一体化 中国と日本の開国 不平等条約体制の成立 江戸幕府の滅亡 ・一人1台端末を活用し Teams やロイロノートを使用する予定である	・環大西洋革命の進展や不平等ネットワークが構築される中で中国と日本がどのように変容していったかについて経緯と関連性を理解できているか。 ・上記の内容について考察したり説明したりできるかどうか。 ・上記の内容について、自分なりの問いを主体的に表明し探究することができるか。	○	○	○	14
	中間考査			○	○		1
	B 明治維新と日本の立憲体制 ・19世紀後半の日本の近代化と国民国家や立憲制成立の様相を世界の動きと関連付けながら理解することができる。 ・19世紀後半の日本の近代化について世界の動向や現在との繋がりについて考察したり説明したりすることができる。 ・19世紀後半の日本の近代化について自分なりの問いを主体的に表明し探究することができる。	明治維新と諸改革 明治初期の対外関係 殖産興業と文明開化 自由民権運動と立憲体制 ・一人1台端末を活用し Teams やロイロノートを使用する予定である	・明治維新以降、日本がどのように近代的文化や諸制度を導入し、当時の国際関係のなかで変容していったかについて、その経緯と関連性を理解できているか。 ・上記の内容について考察したり説明したりできるか。 ・上記の内容について、自分なりの問いを主体的に表明し探究することができるか。	○	○	○	12
期末考査			○	○		1	
2 学 期	C 帝国主義の展開とアジア ・19世紀末から20世紀初頭に帝国主義が世界でどのように展開し、そのなかで日本がどのように行動し変容していったかを理解することができる。 ・第二次産業革命の進展や世界分割の原因、帝国主義列強の相互関係などについて考察したり説明したりすることができる。 ・帝国主義と世界分割の進展、それら世界の動きと日本の関わりについて自分なりの問いを主体的に表明し探究することができる。	条約改正と日清戦争 日本の産業革命と教育の普及 帝国主義と列強の展開 世界分割と列強の対立 日露戦争とその影響 ・一人1台端末を活用し Teams やロイロノートを使用する予定である	・明治中期以降以降、日本がどのように産業革命を進展させ、対外戦争に勝利し、当時の国際関係のなかで帝国主義化していったかについて、その経緯と関連性を理解できているか。あわせて教育の進展を背景にどのような国民国家が形成されていったのかについて理解できているか。 ・上記の内容について考察したり説明したりできるか。 ・上記の内容について、自分なりの問いを主体的に表明し探究することができるか。	○	○	○	18
	中間考査			○	○		1
	D 第一次世界大戦と大衆社会 ・初の総力戦である第一次世界大戦が世界にどのような変化をもたらし、戦間期はどのような国際関係が現出し、どういった経緯で大衆社会が成立したのかを理解することができる。 ・総力戦と、その後に展開する社会主義国の成立や国際協調体制の成立、大衆消費社会の成立の相互の関連性を考察したり、説明したりすることができる。 ・当時の大衆社会の形成や国際協調体制の構築など世界の相互関係を今日と比較する中で、自分なりの問いを主体的に表明し探究することができる。	第一次世界大戦とロシア革命 国際平和と安全保障 アジアアフリカ地域の民族運動 大衆消費社会と市民生活の変容 社会運動と大衆の政治参加 ・一人1台端末を活用し Teams やロイロノートを使用する予定である	・大正期の日本に、どのような市民社会が現出し、それは世界の動向とどのように関係しているかについて、その関連性と特徴を理解できているか。あわせて教育の進展を背景にどのような国民国家が形成されていったのかについて理解できているか。 ・上記の内容について考察したり説明したりできるか。 ・上記の内容について、自分なりの問いを主体的に表明し探究することができるか。	○	○	○	16
期末考査			○	○		1	

3 学 期	E 経済危機と第二次世界大戦 ・世界恐慌の拡大がどのような影響を世界に及ぼし、ファシズムの台頭と第二次世界大戦の勃発をもたらしたか、あわせて大戦に至る複雑な国際関係の推移を理解することができる。 ・国際協調体制の樹立にもかかわらず、四半世紀も経たずになぜ二度目の世界大戦が勃発したのか、あわせて当時の欧州とアジアの関連性を考察したり、説明したりすることができる。 ・当時のファシズムの進展や世界経済の分断などの相互関係を今日と比較する中で、自分なりの問いを主体的に表明し探究することができる。	世界恐慌の発生と各国の対応 ファシズムの台頭 日本の恐慌と満州事変 日中戦争と国内外の動き 第二次世界大戦と太平洋戦争 ・一人1台端末を活用し Teams やロイロノートを使用する予定である	・世界恐慌は国際秩序にどのような変化をもたらし、ファシズムはどのように台頭したのだろうか。この時期の日本の変容は国際社会にどのような影響を与え、その後の大戦はどのような展開をたどり、それは戦後の世界にどのような影響を残したのだろうか。以上の事柄について理解できているか。 ・上記の内容について考察したり説明したりできるか。 ・上記の内容について、自分なりの問いを主体的に表明し探究することができるか。	○	○	○	10	
	F 戦後の国際秩序と日本の改革 ・第二次世界大戦後の世界秩序がどのような経緯を経て形成されていったかについて、国際協調体制と冷戦の二側面から理解するとともに、戦後の日本の変容について、戦前と比較しながら、その具体的展開を理解することができる。 ・再度の国際協調体制の特徴と、冷戦構造について、アジアと欧州の差異に着目しつつ、考察したり、説明したりすることができる。 ・当時の世界の相互関係や民主化の進展を今日と比較する中で、自分なりの問いを主体的に表明し探究することができる。	新たな国際秩序と冷戦の始まり アジア諸地域の独立 占領下の日本と民主化 占領政策の転換と日本の独立 ・一人1台端末を活用し Teams やロイロノートを使用する予定である	・新たな国際協調体制はどのような特徴を持ち、ほぼ同時期に始まった冷戦はどのようにして始まったか。独立したアジア諸国はどのような困難に直面したのか。戦後の日本の民主化はどのような変化をもたらし、占領政策の転換は日本の独立回復とその後の日本にどのような影響を与えたのだろうか。以上の事柄について理解できているか。 ・上記の内容について考察したり説明したりできるか。 ・上記の内容について、自分なりの問いを主体的に表明し探究することができるか。	○	○	○	10	
	学年末考査			○	○		1	
							合計	
							105	

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
定期考査において記号問題・記述問題など知識及び技能に関する問題を出題・採点することなどで評価する。	定期考査において論述問題・正誤問題など思考力や判断力、表現力を問う問題を出題・採点することなどで評価する。	ロイロノートもしくはプリントを用いて、問いを表現する課題を学期毎に取り組ませ、その提出状況などに鑑み評価する。

年間授業計画

教科	科目	使用教科書	単位数	対象学年・組
公民	公共	『高等学校 公共 私たちがひらく未来・社会』(清水書院)	2単位	第1学年A～H組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
倫理、政治、経済に関する基礎的基本的な知識、概念、理論、課題を理解するとともに、資料を調べ、まとめる技術を身に付ける。	課題解決に向けた考え方、多面的・闊的に考察する力、公正に判断する力、構想したことを議論する力を養う。	課題を主体的に解決しようとする態度および人間としての生き方あり方についての自覚と公民としての自覚を深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 公共の扉 (1) 公共的な空間をつくる私たち ・自らを成長させる人間としての生き方あり方について理解させる。 ・人間が社会的存在であることおよび自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることを理解させる。 ・自立した主体になることがキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解させる。 ・社会に参画する自立した主体とは、様々な集団の一員として生き、公共的な空間をつくる存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに人間としての生き方あり方についての自覚を深めさせる。	【指導項目】 ・私たちの人生と社会 ・青年期の心理と課題 ・古代ギリシア思想 ・キリスト教とイスラーム ・仏教 ・儒教 ・日本の風土と神道および仏教 ・江戸時代の学問と近代化への歩み ・3分間スピーチ 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・授業プリント 【学習支援ツール】 ・一人1台端末の活用 ・チームズやロイロノート等	・社会の中で生きる意味を考えることができたか。 ・青年期の意義、青年心理と青年期の課題を考えることができたか。 ・源流思想の特徴を理解することができたか。 ・日本思想の特徴を理解することができたか。 ・源流思想や日本思想をてがかりに、現代に生きる私たちの課題の解決に向けて考えることができたか。 ・源流思想や日本思想をてがかりに、現代に生きる私たちの生き方あり方を主体的に考えることができたか。	○	○	○	11
	中間考査			○	○		1
	(2) 公共的な空間における人間としての生き方あり方 ・帰結主義と義務論を理解させる。 ・課題解決に向けて行為者自身の生き方あり方について探求することが十四意であることを理解させる。 ・資料から情報を収集し読み取る技能を身に付けさせる。 ・結主義や義務論を活用した課題解決に向け、思考実験などの考察する活動を通して間としての生き方あり方を多面的多角的に考察し表現させる。 (3) 公共的な空間における基本的原理 ・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが公共的な空間をつくる上で必要であることを理解させる。 ・公共的な空間における基本的原理を理解させる。 ・思考実験等を用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。	【指導項目】 ・帰結主義と義務論 ・生命倫理と環境倫理 ・近代西洋の思想 ・現代西洋の哲学と政治思想 ・3分間スピーチ 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・授業プリント 【学習支援ツール】 ・一人1台端末の活用 ・チームズやロイロノート等	・カント、ベンサム、ミルの思想の特徴を理解することができたか。 ・生命倫理と環境倫理の特徴を理解することができたか。 ・西洋近代哲学の展開と特徴を理解することができたか。 ・西洋近現代の政治社会思想の展開と特徴を理解することができたか。 ・先哲の思想をてがかりに、現代に生きる私たちの課題の解決に向けて考えることができたか。 ・先哲の思想をてがかりに、現代に生きる私たちの生き方あり方を主体的に考えることができたか。	○	○	○	13
	期末考査			○	○		1
2 学 期	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ・権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことを理解させる。 ・よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることを理解させる。 ・公正かつ自由な経済活動が資源の効率的な配分を実現すること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与する役割を政府が担っていることおよび活発な経済活動と個人の尊重が両立できるものであることを理解させる。 ・解決が求められる課題を設定し、課題解決に向けて協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。	【指導項目】 ・民主政治の基本原則 近代国家と立憲主義、法の支配 大日本帝国憲法と日本国憲法 ・日本国憲法の基本的性格 基本原則と人権保障 平和主義と国際社会 国際人権 ・民主政治の成立と課題 自由民主主義の成立と課題 世論の形成と民主政治 政治参加と主権者 選挙と政党 ・3分間スピーチ ・株式学習ゲーム 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・授業プリント 【学習支援ツール】 ・一人1台端末の活用 ・チームズやロイロノート等	・民主政治の基本原則を理解することができたか。 ・大日本帝国憲法の特徴を理解することができたか。 ・日本国憲法の基本的性格を理解することができたか。 ・民主主義の成立と展開を理解することができたか。 ・民主政治の基本原則や日本国憲法の基本的性格および民主政治の成立と課題に関する基礎的基本的な知識を用いて、今日の社会が抱える課題を設定し、その課題解決に向けて協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現することができたか。	○	○	○	13
	中間考査			○	○		1

		<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の統治機構 国会、内閣、裁判所、地方自治 国際政治 国際政治の成立と展開 国際連合の成立と役割 第二次世界大戦後の国際政治 国際政治の現状と課題 私たちと経済活動 私たちと経済 国民経済 経済社会のしくみと役割 市場のしくみと機能 市場の特徴と限界 金融と財政 企業 株式学習ゲーム <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 資料集 授業プリント <p>【学習支援ツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 チームズやロイロノート等 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の統治機構を理解することができたか。 現代日本の統治機構に関する基礎的基本的な知識を用いて、今日の社会が抱える課題を設定し、その課題解決に向けて協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現することができたか。 国際政治の基本原則を理解することができたか。 国際連合のしくみと課題を理解することができたか。 第二次世界大戦後の国際社会の展開を理解することができたか。 国際政治の現状と課題を理解することができたか。 国際政治に関する基礎的基本的な知識を用いて、今日の社会が抱える課題を設定し、その課題解決に向けて協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現することができたか。 経済社会の見方考え方を理解することができたか。 市場経済の基本原則を理解することができたか。 金融と財政の基本原則を理解することができたか。 現代の企業について理解することができたか。 経済に関する基礎的基本的な知識を用いて、今日の社会が抱える課題を設定し、その課題解決に向けて協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現することができたか。 					13
	期末考査							1
3 学 期		<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済社会のしくみと役割 労働と社会保障 国際経済 国際収支 自由貿易とグローバル化 国際経済のこれから 	<ul style="list-style-type: none"> 労働と社会保障についての基礎的基本的な知識を理解することができたか。 労働と社会保障に関する基礎的基本的な知識を用いて、今日の社会が抱える課題を設定し、その課題解決に向けて協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現することができたか。 国際収支と外国為替に関する基礎的基本的な知識を理解することができたか。 自由貿易と国際分業に関する基礎的基本的な知識を理解することができたか。 国際経済の現状と今後に関する基礎的基本的な知識を理解することができたか。 国際経済に関する基礎的基本的な知識を用いて、今日の社会が抱える課題を設定し、その課題解決に向けて協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現することができたか。 					10
	C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会をつくる AI 地球規模での環境問題 食料問題や水資源問題 少子高齢化と社会保障 グローバルに考え、ローカルに行動する <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 資料集 授業プリント <p>【学習支援ツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 チームズやロイロノート等 	<ul style="list-style-type: none"> 「公共」まとめとして「公共」全体にかかる課題を設定し、総合的かつ多面的・多角的に考察し、協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現することができたか。 					5
	学年末考査							1
								合計
								70

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
定期考査を中心に、授業における発表や発言、課題等の内容、3分間スピーチやディベートあるいはビブリオバトル等の多様な学びから総合的に評価する。	定期考査を中心に、授業における発表や発言、課題等の内容、3分間スピーチやディベートあるいはビブリオバトル等の多様な学びから総合的に評価する。	授業に臨む姿勢、提出物の提出状況や内容等から総合的に評価する。

年間授業計画

n 教科	科目	使用教科書	単位数	対象学年・組
地歴	地理総合	『地理総合 世界に学び地域へつなぐ』（二宮書店） 『新詳高等地図』（帝国書院）	2 単位	第 2 学年 A～H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力，判断力，表現力等】	【学びに向かう力，人間性等】
地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 地図と GIS の活用	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 地球上の世界 日本の位置と領域 国内や国家間の結びつき 暮らしのなかの地図と GIS 主題図・グラフの見方 地形図の見方 端末の活用 必要に応じて Teams やロイロノートを利用する 	<ul style="list-style-type: none"> 地球上での位置，太陽高度の変化，緯度経度のしくみ，時差の計算について理解できたか。世界地図の主な図法と利用について理解できたか。GIS の特徴や利用方法，そのしくみについて理解し，GIS で作成した地図を重ね合わせ，地域の特徴を分析する方法を身につけたか。 球体としての地球の観点から，図を活用して地球上の位置や時差のしくみをとらえ，説明できたか。世界地図を図法の違いにより使い分けることができたか。身近な地図について，目的により表現方法を使い分けることができたか。 球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し，作業や考察に取り組むことができたか。様々な世界地図の違いに関心を持ち，資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができたか。身の回りの地図に興味を持ち，意欲的に地図の知識を活用できたか。 	○	○	○	11
	1 学期中間考査			○	○		1
	B 地形と生活文化	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 変動帯とプレート 河川つくる地形と生活 海岸の地形と生活 地形図の読図 端末の活用 必要に応じて Teams やロイロノートを利用する 	<ul style="list-style-type: none"> 地形についての知識を身につけ，世界的視野から地形の分布の特徴をとらえることができたか。地形図から等高線や地図記号などを判読し，地形の特徴や土地利用をとらえることができたか。 世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ，世界の地形配置と比較しながら考察できたか。生活している地域の地形の特徴について，写真，地形図などからとらえ，人間生活との関連を考察できたか。 地形図や分布図，写真，模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み，地形と人間生活とのつながりをとらえようとしたか。 	○	○	○	6
	C 気候と生活文化	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 大気の大循環 ケッペンの気候区分 熱帯の自然環境と生活 乾燥帯の自然環境と生活 温帯の自然環境と生活 亜寒帯・寒帯の自然環境と生活 端末の活用 必要に応じて Teams やロイロノートを利用する 	<ul style="list-style-type: none"> 大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。各気候の分布の特徴を理解できたか。雨温図や写真から情報を抽出し，各気候と植生の対応や，それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り，整理できたか。 世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを，資料をもとに考察できたか。気候の分布の規則性を，気候区分図をもとに考察できたか。写真などの資料をもとに，各気候により景観が異なることをとらえ，農業や生活への影響を考察できたか。 雨温図や写真の判読を通じて，世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。 	○	○	○	7
1 学期期末考査				○	○		1
2 学 期	D 産業と生活文化	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 農業の発展と生活文化 工業の発展と生活文化 サービス業の発展と生活文化 端末の活用 必要に応じて Teams やロイロノートを利用する 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。主題図や写真，グラフ，統計資料から世界の産業の分布と発達をとらえることができたか。 自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。 身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。産業が発達し続けていることを，時事的話題とともに意欲的にとらえようとしたか。 	○	○	○	8

2 学 期	E 宗教・言語と生活文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界でみられる生活文化の多様性について、宗教、言語の分布や人々との関わりを主題図や写真などの資料を通じて理解するとともに分布を示す要因について理解する。 ・ 世界の少数民族、移民、難民の問題をとらえながら、マイノリティなどを踏まえた多様な人々に配慮し、自他の文化を尊重する社会の実現を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導事項 宗教の分布と生活文化 言語の分布と生活文化 移民と難民 生活文化の多様性 ・ 端末の活用 必要に応じて Teams やロイロノートを利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解したか。主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の宗教の分布と特徴をとらえることができたか。 ・ 生活と宗教の関わりについて、地域性や歴史的背景をもとにとらえ、資料をもとに考察できたか。世界的な難民と移民の問題を地図などの資料からとらえ、考察できたか。 ・ 世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。難民と移民の問題構造を調べ、難民問題の解決策を意欲的に探究できたか。 	○	○	○	5
	2学期中間考査				○	○		1
	F 世界各地の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域の特色ある生活文化をもとに、生活文化が自然環境・社会環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、それらの環境の変化により変容することを理解する。 ・ 各地域の特色ある生活文化をもとに、自他の文化を尊重し、国際理解を図ることの重要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導事項 経済発展と生活文化の変化 宗教の多様性と生活文化の変化 水の恵みと生活文化 イスラーム社会と生活文化 ・ 端末の活用 必要に応じて Teams やロイロノートを利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図版や写真から特徴をとらえ、自然環境・社会環境と生活文化との対応と地域の変化を整理できたか。各地域の事例を通して、自然環境・社会環境がその地域の生活文化に与えた影響を理解できたか。 ・ 各地域の事例を通して、自然環境・社会環境と生活文化との関わりを、資料をもとに考察できたか。各地域の生活文化の変化および課題を、資料をもとに考察できたか。 ・ 各地域の生活文化を調べ、自然環境・社会環境との関連性について、意欲的に探究できたか。各地域の特性を、他地域との共通点・相違点を踏まえて追究できたか。 	○	○	○	8
	G 地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界各地でみられるさまざまな問題をもとに、地球的課題の各地域で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 ・ 世界各地でみられるさまざまな問題をもとに、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指す取組や国際協力が必要であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導事項 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口・食料問題 居住・都市問題 ・ 端末の活用 必要に応じて Teams やロイロノートを利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな地球的課題を、主題図やグラフなどの資料からまとめ、その解決策を含め理解できたか。 ・ さまざまな地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりとの観点からとらえ、考察できたか。それらの問題が人々の生活に与える影響を意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できたか。 ・ さまざまな地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりと関連させて、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できたか。 	○	○	○	5
	2学期期末考査				○	○		1
3 学 期	H 日本の自然災害と防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本列島の自然環境の特徴を、主題図やグラフなどの資料をもとにとらえ、多様性や恩恵があることや、自然災害を与える要素があることを理解する。 ・ 日本各地で頻発する風水害、火山、地震・津波、都市型の災害の具体的な事例について、新旧の地形図、ハザードマップ、気象情報、電子地図などを利用して理解する。 ・ 自然災害はどのような自然環境と関係しているのか、それに対する備えはどうか、それに対する備えはどうか考え、居住地域での防災・減災意識の向上につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導事項 世界からみた日本の地形の特色 世界からみた日本の気候と特色 風水害と防災 火山噴火と防災 地震・津波と防災 都市型災害と防災 防災への心構え 日本の特徴と課題 ・ 端末の活用 必要に応じて Teams やロイロノートを利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できたか。日本列島における自然災害について具体的事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解できたか。地形図やハザードマップを活用し、防災と避難行動について考察する技能を身につけることができたか。 ・ 日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できたか。日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それを踏まえて自然災害時の対策を考察できたか。 ・ 自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し、過去の災害事例を調べることができたか。GISなどを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究できたか。 	○	○	○	15
	学年末考査				○	○		1
							合計	
							70	

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
定期考査、提出課題など	定期考査、提出課題など	提出課題、授業への取組状況など